

2 年下

お手紙

新地町立駒ヶ嶺小学校 武口 文子

単元の特徴・付けたい力




本単元では、「音読劇をする」という言語活動が設定されている。学習過程においては、語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読をしたり、場面の様子に着目して登場人物の行動を具体的に想像する中で、言葉に着目し、それを投げどころにして見方・考え方を働かせる必要があると考える。音読劇に向けて、表現の根拠となる言葉について考える時間を十分確保するとともに、共有の場面を意図的に取り入れ、視点や思考を促すための働きかけを行うことで、思いや考えの一層の深まりと言語能力の育成につなげたい。

ICT の活用について

デジタル教科書内の「マイ黒板」で、登場人物 2 人の会話文を教材文より抜き出す機能を活用する。その際、登場人物の気持ちを心情ラインの上（幸せ）・下（不幸せ）に配置し、その根拠となった語句に線を引くようにする。この活動により、心の動きが可視化され、音読劇をする際に登場人物の心情に合った読み方や動きの工夫に、大いに効果を発揮するものとする。

全時学習活動（全 12 時間）

時	主な学習活動	デジタル教科書内の機能やコンテンツ
1	題名と挿絵からお話を想像する。	  「マイ黒板①シート」
2	場面の移り変わりに着目して物語を分ける。	
3	登場人物 2 人の会話と行動を整理する。	
4	(P12～P15L3) 登場人物 2 人の行動やその理由、表情、口調、様子などを想像する。	 「マイ黒板②シート」
5	役割音読をする。	 「マイ黒板②シート」
6	(P15L4～P17L2) 登場人物の行動やその理由、表情、口調、様子などを想像する。役割音読をする。	 「マイ黒板③シート」
7	(P17L3～P20L2) 登場人物 2 人の行動やその理由、表情、口調、様子などを想像する。役割音読をする。	 「マイ黒板④シート」
★ 8	(P20L3～P23) 登場人物 2 人の行動やその理由、表情、口調、様子などを想像する。役割音読をする。	 「マイ黒板⑤シート」
9	音読したい部分について、登場人物の様子を想像して、音読の工夫を考える。	 「マイ黒板 各シート」
10	グループで音読劇の練習を行い、互いの音読の方法について感想を伝え合う。	 

11	友達の助言や読み方から、自分の読み方を考え直して練習する。	 
12	これまでに学んできたことをいかして、音読劇を発表する。	 「マイ黒板 各シート」

★8 時の指導案

<p>◇学習活動・指導上の留意点 ◆ICT・デジタル教科書の活用場面</p>	<p>◆児童の反応 □先生の感想</p>
<p><u>導入：がまくんからの質問</u></p> <p>◇学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 登場人物 2 人の会話文から、前時までとの違いを確認し、本時の課題をもつ。 がまくんが、初めてかえるくんの行動に疑問を感じていることに気づかせたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆前の場面までは、かえるくんの問いかけにがまくんが答える会話が多かったが、がまくんが初めてかえるくに質問している。 ◆どんな会話になっているのか、早く抜き出してみたい。 <p>□「マイ黒板」の機能をいかして学習を進めることで、学習への意欲を高めることができた。</p>
<p><u>展開(1)：お手紙の内容</u></p> <p>◇登場人物 2 人の会話文を切り取り、その時の心情を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「マイ黒板」に心情ラインを引く。登場人物 2 人の会話文を切り取り、心情ラインの上または下に配置する。その際、その判断の根拠とした語句に線を引く。 <p>◇友達と考えを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「マイ黒板」の内容を友達と交流し合うことによって、より深い学びができるようにする。 <p>◇お手紙の内容について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆お手紙の内容を切り取って、がまくんの気持ちを変えた言葉に線を引く。 <p>◇友達と考えを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> マイ黒板の内容を友達と交流し合うことによって、より深い学びができるようにする。 <p><u>展開(2)：登場人物 2 人の気持ちの変容</u></p> <p>◇P14～15 の挿絵と P22～23 の挿絵を比べて、登場人物 2 人の気持ちの変化について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 顔の表情や足先、手などに着目させる。 <ul style="list-style-type: none"> ◆挿絵を「マイ黒板」に切り取り、比較しやすいように上下に並べる。 <p>◇友達と考えを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「マイ黒板」の内容を友達と交流し合うことによって、より深い学びができるようにする。 	<p>□ 4 回目の作業なので、児童は手順を把握し、スムーズに活動に入ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆がまくんの気持ちが、だんだん上に向かっていった。 ◆かえるくんのお手紙作戦のおかげで、がまくんの気持ちが明るくなったのではないかな。 <p>□ラインを一本引くことで、がまくんの心情の変容が可視化され、音読劇にも生かすことができそうだ。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ◆全部の言葉（文）がいい。 ◆「親友」は「友達」よりも強い意味のある言葉だと思う。 <p>□お手紙の内容を抜き出すことによって、言葉一つ一つがもつ意味に集中できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆表情がにっこりになった。肩を組んでいるところが親友だと思う。 <p>□挿絵を比較することによって、気持ちの変化が分かりやすくなった。</p>
<p><u>まとめ：学習を振り返り、次時の見通しをもつ。</u></p> <p>◇本時で学習したことをもとに、役割音読をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時を振り返りながら、音読するときの口調を工夫するようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ◆「マイ黒板」を見ることによって、登場人物 2 人の気持ちを想像しながら読むことができるようにする。 <p>◇次時の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 次時は、音読劇で音読したい場面を決めて練習することを伝え、意欲を継続できるようにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆本文と「マイ黒板」の両方をしっかり見ながら、音読している。 <p>□前時までのがまくんの口調とは違った音読を聞くことができた。かえるくんの口調は、一層優しく心に響くような音読であった。</p> <p>□次時は、各場面の音読練習をしたいという希望があり、学習への意欲を感じた。</p>